

令和6年やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	出羽庄内市民ミュージカル若手塾		
事業名	「若者世代」と「歴史ロマン」庄内の二つの宝を結ぶミュージカル「蜂子の皇子物語」公演		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題：有形・無形の文化財に関する学びを通じた継承の基盤強化】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	2,858,007 円
		うち助成金額	500,000 円
事業実施期間	令和6年5月29日～令和7年1月20日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

庄内には、海岸地域、平野部、河川、丘陵地帯などの広い地域を舞台に、山岳信仰を基盤に、千年以上前から伝わる蜂子の皇子の雄大な歴史ロマンがある。それは庄内地域の魅力であり、宝である。その蜂子の皇子物語を、もう一つの地域の宝である「若者世代」に伝えようという目的で、若者世代が興味の持てるミュージカルを制作した。

2014年から、小、中、大規模のホール等で上演してきたが、本年は、大ホールで上演する機会を頂いた。そのチャンスを生かして、若者世代に地元の宝を伝える目的で、公演したいと考えた。主人公は蜂子の皇子であるが、この作品では、現代から古代にワープする小学生3人も、一方の主人公にしている。他にも、皇子上陸の伝説が残る由良の小学生達に出演してもらうなど、若い世代と皇子の足跡と業績を、結ぶことを目的とした。

（実施内容）

- ① タクト公演に向けて、出演者の公募・稽古開始、さらに、演奏団体・出演団体などの公募を行った。市内小学4～6年生にチラシ配布、ミュージカル体験会開催（6月9日）小学生7名参加、うち1名が公演まで継続参加。更に6月28日（金）に、酒田でプロのミュージカル公演に公募チラシを配布、1名が公演まで参加。稽古と並行して、出演者募集を継続し、出演者9名を公募育成した。
- ② 5月半ばに予定の演奏団体から断りがあり、その後、学校・市民ら4団体に演奏をお願いにまわったが、次第に準備期間がなくなり、生演奏での上演を断念。県民文化芸術振興課に、出演者・団体募集の学校団体への呼びかけをお願いしながら、自分達でも地元学校・団体をお願いして回った。結果、9月中旬に市内合唱団体と高校合唱部が40名出演してくれることになり、出羽三山神社山伏、ダンスチーム、高校生チア部、皇子上陸地由良・三瀬の小学生11名、八乙女太鼓、が出演、出演者が100名近くなり、安堵した。
- ③ 本番公演は、市長と出羽三山宮司の御挨拶に続いて、開幕。花道を利用して、高校生以上の客演者には、観劇しながら出演してもらうことができ、芝居に見入ってもらえた。観客からは、歌とダンスの後に必ず拍手をいただき、子ども出演者も堂々と演じることができた。若者世代と観客との交流は、上手くいったと考えている。
- ④ 直前まで準備に追われる中、職業と両立させて、前向きに公演の準備をしてくれた若手塾メンバー達と家族、何度も稽古場で芝居を見学してくれ、プランを練ってくれたプロスタッフらの存在も力となった。



左
終演後
全員
集合

右
「公演
チラ
シ」



事業の成果	「蜂子の皇子物語～神様と友達になった夏休み～」公演（客演者・出演者約100名） お客様がアンケートは、書かずにいられないという筆跡で、「素晴らしかった。」「熱意を感じた。」「楽しかった。」「感動をありがとう。」「ブラボーの一言です。」「三人の子ども達、良かったよ。」「できれば、半年後に再演を！」「客席全員を巻き込む素晴らしい舞台。」など、感動の言葉をいただいた。 出演ジュニア感想文からは、「主人公ツムグと共に自分も成長できた。」「(中3ツムグ役)「学校で発表が苦手だったけど、発表する勇気が出てきた。」「(小6アゲハ役)「ぜんぜん上手におどれなくて、泣いた日もありましたが、励ましてもらい、立ち直ることができ、すごく成長できました。」「(小4トンボ役)「蜂子の皇子物語をあまり知らなかったのですが、このミュージカルで地元庄内の出羽三山の歴史を楽しく学ぶ事ができて本当に良かった。」「(高校1年、合唱)など短時間ではあったが、初舞台出演者の成長と理解を感じられたのが、収穫だった。予想以上の反響のことばがあり、予定外で「感想文集」を作ることにした。
今後の展望	イベント等での「蜂子の皇子物語」（20分位）を発表する機会をつくる。 □参加者募集活動を継続する。 □イベントでの公演も大切にしながら、海外客に、日本特有の自然との接し方「山岳信仰」を理解していただくために、クルーズ船客へのインバウンド英語版「プリンスハチコ」を公演する。国内外に、地元の魅力を発信しながら、出演の若者世代にも魅力を伝えていく。 □「蜂子の皇子物語」ミニ公演と平行しながら、若い世代に伝えたいテーマの新しいミュージカルにも、挑戦する。 □具体的には、閉館寸前の水族館を新しい視点で「鶴岡市加茂水族館」再建を果たした元館長と職員の奮闘の物語は、人口減少社会を生きる若者らにも、力を与えてくれると考え、令和7年度は、「世界一の水族館～加茂水族館物語」ミュージカル公演に挑戦する。台本は既に出来上がり、7月に入った今は、作曲家の曲が一曲ずつ仕上がるのを待っている。既に、音楽1は送られて、声楽とダンスの稽古に入って、11月23日公演に向けて動き出した。



上 ラストソング「愛する故郷」
 左 皇子を導く「八乙女の舞」練習をする由良豊浦小放課後子供教室の小学ら。

団体概要

団体名 出羽庄内市民ミュージカル若手塾
 代表者 大井卓磨

URL<http://teamtsunami.web.fc2.com>

令和 6 年度山形県N P O活動促進補助事業
収支精算書

事業の名称	「若者世代」と「歴史ロマン」庄内の二つの宝を結ぶミュージカル「蜂子の皇子物語」公演
団体名	出羽庄内市民ミュージカル 若手塾

1 収入の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
県補助金	500,000	令和 6 年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	584,000	
その他収入	753,000	
自己資金	1,021,007	
合計	2,858,007	

2 支出の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
謝金	475,000	衣装・小道具制作謝礼・客演謝礼・演出謝礼・声楽指導謝礼・ダンス指導謝礼
旅費	43,780	総合演出・舞台監督宿泊代
印刷製本費	142,174	台本等印刷代・プログラムチラシ印刷代・インク代
消耗品・材料購入費	6,129	大道具材料・マイク電池・布地代・ゴミ袋
通信運搬費	13,690	郵送代・宙刷り機材重量超過代
保険料		
使用料	1,273,081	練習会場使用料・タクト使用料・冷暖房費・著作権料
人件費		
(委託費)	100,000	照明音響委託料
(備品購入費)		
(修繕費)		
対象外経費	804,153	講師航空運賃・食糧費・ダンス出演料・音響照明超過分・看板代・チケ販売手数料
合計	2,858,007	